

2026 年度（第 2 次）神戸市外国語大学大学院 入学試験

英語学専攻（通訳翻訳学領域）

解答例・出題意図

問題 I

【出題意図】

AI 時代の Translation Studies の課題のひとつは、AI をむやみに排除するのではなく、いかに AI と共存するのかという前提に立脚して、翻訳・通訳を理論的に記述することにある。本学大学院入学後に翻訳・通訳の理論と実践を学ぶために必要とされる、研究対象を分析的に思考するための知識を有しているか、そして学術的な日本語ないしは英語によって論述する力を備えているかを問う目的で出題した。

【解答例】

個別に異なるために省略。

問題 II

【出題意図】

Translation Studies における学説を説明する英文を理解し、適切な学術用語を用いた日本語に訳出できる英語力と日本語力を問う意図で出題した。

【解答例】（入試問題であることを前提とした訳出）

[Redacted text block]

[Redacted text block]

2026 年度（第 2 次）神戸市外国語大学大学院 入学試験

英語学専攻（通訳翻訳学領域）

解答例・出題意図

[Redacted text block]

[Redacted text block]

問題Ⅲ

【出題意図】

学術論文の執筆時に必要とされる英文要約の力を問う意図で出題した。

【解答例】（ITT について適切な用語で正確かつ簡潔に要約されていること）

[Redacted text block]

2026年度（第2次）神戸市外国語大学大学院 入学試験

英語学専攻（通訳翻訳学領域）

解答例・出題意図

